

このコラムは福祉の職場で働く人を紹介し、仕事や人の魅力を伝えます。今回登場するのは、保育士に転職した入職4年目の芝さん。保育士の魅力や今後の目標について聞きました。

## 夢を叶えたい

昔から子どもが好きで、感受性豊かな乳幼児期に関わる仕事がしたいと思っていました。大学では子ども心理学を専攻しつつ、保育士試験に挑戦しましたが取得は叶わず、一般企業に就職しました。

仕事をしながら保育士試験に再挑戦しましたが、仕事と勉強の両立は難しく、コロナをきっかけに、自分の働き方や将来を見つめ直すことに。あらためて保育士になる夢を叶えたいと思ひ、同園への就職を決めました。

## 試行錯誤の毎日

非常勤職員として働きはじめ、子育て支援員研修を受講し、保育補助として経験を積んでいきました。職場の雰囲気や先輩職員の仕事を間近で見ると保育士への憧れは膨らみました。そして、就職して1年半後、保育士試験に合格。今年度から正規職員の保育士としてスタートを切りました。今は、2歳児クラスを担当しています。イヤイヤ期や赤ちゃん返りが見られる月齢で、伝えたいことが伝わらないこともしばしば。何といえは興味をもってくれるか試行錯誤の毎日です。

月齢や兄弟の有無によって発達は異なるので、適切なタイミングでいねいに関わるよう心がけています。またカリキュラムや日中活動を考えるのも担任保育士の仕事。簡単ではありませんが、自分で組み立てていくことにやりがいを感じています。

SNSなどで制作動画を観たり、週1回ピアノレッスンに通いながら、スキルアップのため努力中です。

## 保育士になってよかった!

子どもたちが、「しばせんせい!」と声をかけてくれると、「私の存在を認識してくれているのだ」とうれしくて、疲れも吹っ飛びます。また、保護者から、「子どもが園での出来事を楽しそうに話してくれる」と聞くと、「保育士になって良かった」と思える瞬間です。

今の目標は、2歳児クラス13人の子もたちと一緒に行事を成功させて、みんな笑顔で来年の4月を迎えることです。



社会福祉法人 明の守福祉会  
明の守なかざき園 保育士  
しば なのか  
芝 菜花さん

## 地域で活躍する

地域で活躍する民生委員・児童委員(以下、民生委員)さんにスポットを当て、その方の思いを紹介します。

今回は、ボランティアはライフスタイルと語る安本修さんにインタビュー。活動で大切にしていること、今後の抱負について聞きました。

### ● 人の助けになりたい

20代から青年会や子ども会の指導員などボランティア活動をしていた安本さんは、58才で民生委員に。福祉の知識が必要な個別支援に不安も感じましたが、人の助けになるならと引き受けました。

### ● そっと支える

大切にしていることは、困っている人にそっと寄り添い、支えること。「行雲流水」(空を行く雲や流れる水のように周囲の環境にあわせて行動すること)のように、地域にとけこみ、誰とも話しやすい関係づくりをめざしています。

## 民生委員・児童委員さん

NO.45



河内長野市 (民生委員歴16年)

### Q 質問数珠つなぎ

Vol.44 小林さんから質問

赤ちゃん訪問など乳児の支援は?

### A 安本さんの回答

河内長野市未就園児等全戸訪問事業で0歳から3歳児の訪問をやっています。

### ● 出向き、話をきく

生活福祉資金やDVなどの状況確認調査も、できるだけ自宅訪問し、申請内容だけではなく、他の困りごとを確認します。支援が必要な方は制度やサービスにつなぎ、CSWや社協、関係機関とともに支援をしています。子どもたちの「ありがとう」が何よりうれしいです。

### ● 孤立・孤独をふせぐ

近隣付き合いがないひとり暮らしや、福祉の世話になりたくないと思っている人が増えていることを感じています。高齢者も子育て家庭も誰もが身近な場所で相談でき、孤立しないための居場所を地域の人とともに作っていきたいです。また民児協の副会長として、活動しやすい環境づくりにも取り組んでいます。試験的に導入したタブレットは、委員同士の連絡や資料の閲覧に活用。委員の負担軽減をさらに検討していきたいです。